

評価体制も拡充

受賞企業



環境大臣賞受賞企業と小泉環境相
(写真上が金賞受賞企業、下が銀賞受賞企業)

金融サービス部門

金賞 ブルームバーグ・エル・ピー

銀賞 野村証券

銅賞 みずほ証券、SMBC日興証券、MS&ADインシュアランス グループホールディングス

環境サステナブル企業部門

金賞 キリンホールディングス

銀賞 コニカミノルタ、積水ハウス、ダイキン工業

銅賞 アサヒグループホールディングス、味の素、大阪ガス、大和ハウス工業、富士通、富士フイルムホールディングス

特別賞 JFEホールディングス、ユニ・チャーム

投資家部門

金賞 BNPパリバ・アセットマネジメント

銀賞 野村アセットマネジメント

銅賞 日本生命保険相互会社、ロベコ・ジャパン、ヌビーン・ジャパン

間接金融部門

金賞 みずほフィナンシャルグループ
滋賀銀行

銀賞 三菱UFJ銀行

銅賞 滋賀県信用保証協会

資金調達者部門

金賞 東京建物

銀賞 長野県、ヒューリック

銅賞 東日本旅客鉄道、アサヒグループホールディングス

(前ページから続く)

門(証券部門)には、様々なアセットクラスでESG市場の拡大に取り組む野村證券が輝いた。

環境サステナブル企業部門には、早くから2050年の長期軸で脱炭素目標を掲げ、着実に成果を上げているコニカミノルタ、積水ハウス、ダイキン工業の3社が選ばれた。

選定委員からは「甲乙つけがたい、難しい審査だった。次回にも期待したい」といった声が聞かれた。第3回は、10月ごろ募集開始の予定だ。

講評



ESGファイナンス・アワード・ジャパン選定委員会委員長
青山学院大学名誉教授/東京都立大学 特任教授

世界に模範示せ

北川 哲雄氏

「ニュートリアル宣言があり、持続可能な社会の実現がグローバルなコンセンサスになったといえる。そうした中で、ESGに対する企業の取り組みレベルは高まっている。情報開示の円熟度が増し、金融機関の評価体制も拡充が進んだ。評価機関や情報サービス機関の解析も高次化している。」

特に今回のアワード表彰企業には、ESGを事業の中核に据えて、自分ごととして能動的に取り組む姿があった。

持続可能な社会の実現を目指す中でイノベーションが生まれ、新たな需要が創出される。そのためには従来以上に長い時間軸で企業の取り組みを評価し、支援することが欠かせない。日本はそうした「サステナビリティニューディール」を確立し、世界の模範となるべきときが来ている。